

# 相生っ子

○本年度の相生教職員のめあて  
一児童が主役の学校づくりと  
ICT 活用による学びの充実



令和4年3月24日 相生小学校 校長室だより

第40号 文責：岩佐隆之

## 相生小学校に新たな歴史と伝統を築いた6年生が卒業しました。未来に幸あれ！

穏やかな日差しのもと、榎山教育委員さんと谷口PTA会長さんをお招きし、令和3年度第21回相生小学校卒業式を行いました。体育館にはご家族と5年生が、各教室では1～4年生がオンラインで参加し、体育館や廊下には、15日に3～5年生が生けたフリースタイルやコワニーも飾られました。卒業生も5年生も、心のこもった呼びかけや返事ができ、厳粛な中にも、温かい雰囲気にも包まれた素晴らしい式となりました。ご卒業を心よりお祝いたします。

祝辞でも話しましたが、「制限のある中でも工夫してやってみよう」と、学校のため、下級生のため、友達のために、真面目に、前向きに取り組んだ6年生。運動会での入場行進や選手宣誓、開閉会式の司会や挨拶。学習発表会での閉校した小学校の紹介や力強い平野太鼓。「卒業プロジェクト」では、朝の挨拶や清掃のボランティア、下級生や先生方とのドッジボール、児童玄関の掲示板の枠飾りとなる木彫の彫刻や各教室へのリモコンホルダーのプレゼント作りを行いました。私たちにも、心のこもった手紙をいただきました。卒業式前日には、バスターミナルと給食センターに、お礼のあいさつに出向きました。代表委員会や委員会、クラブ、スマイル班でも、責任感と優しさいっぱい活動を率先して行いました。いつでも誰でも言える感想発表やじっくり考えて豊かに表現できる作文力、タブレットを自在に活用しての発表等、学習面でも大きく成長しました。誰に対しても優しく親切で、仲が良く、何事にも真面目で一生懸命に取り組んだ卒業生。「あいめえる」に綴った将来の夢に向かって、かけがえのない仲間とともに、豊かな人生を歩んでほしいと願っています。いつまでも応援しています。

6年生の保護者の皆様には、今までの本校教育へのご支援、ご協力に対しまして、厚く御礼申し上げます。教職員一同、お子様の健やかな成長を心よりお祈りいたしております。



(裏面もご覧ください。)

1年間、本当にありがとうございました。来年度も、よろしく願いいたします

保護者の皆様には、この1年間、本校教育の充実・振興と相生っ子の健やかな成長のために、多大なるご理解、ご協力をいただき、本当にありがとうございました。職員一同、心よりお礼申し上げます。心身ともに大きく、たくましくなった相生っ子。できることも増えてきました。いさかいが起こることもありますが、その都度、どこがいけなかったのか、これからどうしたらよいか、しっかり話し合ってきました。優しい言動が増えてきて、嬉しく思っています。「温かい家庭だからこそ、優しい子どもたちが育つ」のだと改めて実感した1年でした。

また、花育や木育、晩茶育等のふるさと学習では、地域の皆様にも大変お世話になりました。少しでも、自分たちが住む地域の良さを知り、ふるさとを愛する子どもに育ててほしいと取り組んでまいりました。制限のある中でも、知恵と工夫を出し合って、よりよい学校・学級にしよう、自分を伸ばそうと取り組んできた相生っ子。来る令和4年度も、変わらぬご支援をいただきますようお願いいたします。

さて、25日(金)から春休みです。お子様とも十分話し合わせ、入学・進級に向けて心身を整え、リフレッシュしていただければと思います。平日は、職員は出勤しております。いつでもお気軽

にご連絡ください。また、校長室だよりもお読みいただき、ありがとうございました。



**<相生っ子の俳句 掲載続々>**  
1年を通して、俳句作りに取り組んでいる相生っ子。今年も、素晴らしい作品が徳島新聞「阿波っ子タイムズ」や朝日小学生新聞に掲載されました。来年度も、俳句づくりを通して、素直な感性を磨き、語彙力や表現力を伸ばして欲しいと思います。

最後の「ボールでね」が丸くてはすんで、春に合うね。明治時代の俳人正岡子規もまり投げて見たき広博や春の草とよんでいろよ。

徳島県那賀町立相生小  
2年 久家寛空

はるだはるそとであそぼうボールでね

徳島県那賀町立相生小  
4年 井上夏輝

祖谷につきしんこぎゆうするいき真つ白

徳島県那賀町立相生小  
6年 藤崎悠

阿波っ子俳壇

「阿波」は、徳島県を指す。阿波の文化、阿波の歴史、阿波の風土、阿波の人情、阿波の美しさを表現しよう。阿波っ子俳壇は、阿波っ子の心を表現する場所。阿波っ子の心を表現しよう。阿波っ子の心を表現しよう。

阿波っ子俳壇

阿波っ子俳壇

阿波っ子俳壇

(裏面もご覧ください。)